



# 世論調査の概要

(平成28年執行参議院議員選挙・東京都知事選挙)

候補者の選定に役立った媒体は、「テレビ・ラジオの選挙報道」が8割半ば～過去(平成以降)と比較して10ポイント以上↑～

## 実施の対象と概要

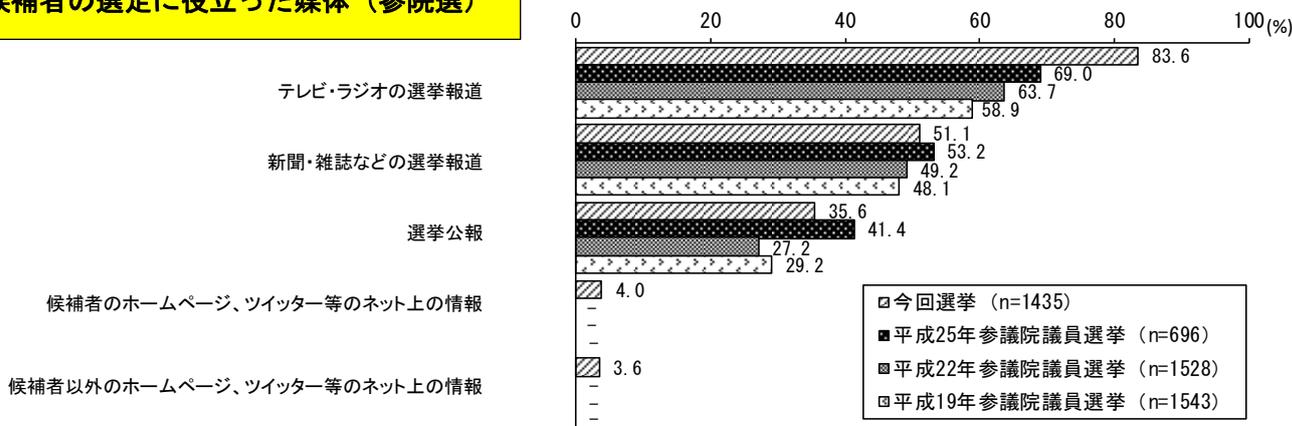
- ・28年7月10日執行参議院議員選挙 及び 28年7月31日執行東京都知事選挙
- ・回答者数：1,823人(対象3,000人) ・個別面接聴取法(8月29日～9月27日)

### 1 候補者の選定に役立った媒体は、

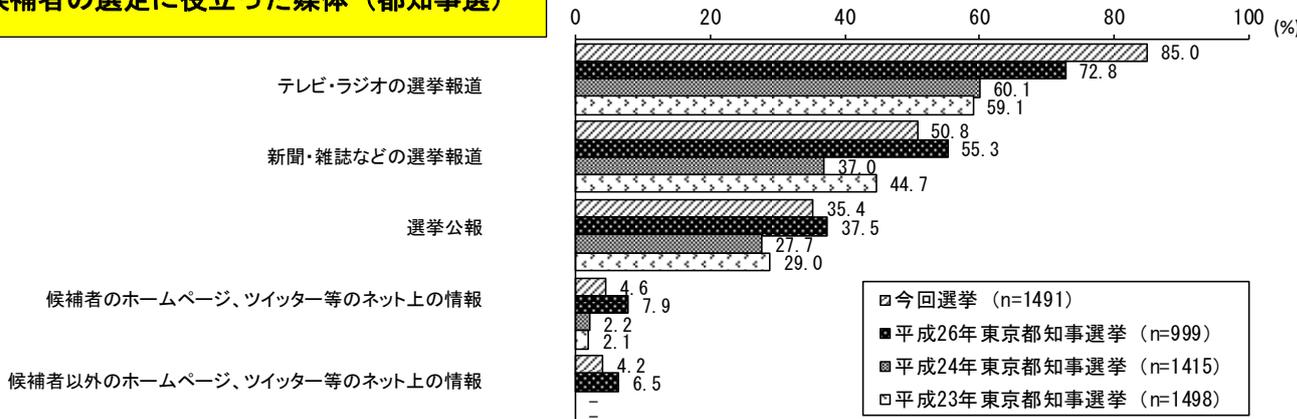
- 「テレビ・ラジオの選挙報道」が約8割半ば
- 「ネット上の情報」は4%程度

- ・「投票した」と回答した人に、候補者の選定に役立った媒体を聞いたところ、「テレビ・ラジオの選挙報道」が8割半ばと、両選挙とも最も高くなっている[参院選(83.6%)、都知事選(85.0%)]。
- ・平成以降の過去の選挙と比較しても、10ポイント以上高く、過去最高となっている。
- ・「ネット上の情報」は4%程度となっている[参院選(4.0%・3.6%)、都知事選(4.6%・4.2%)]。

### 候補者の選定に役立った媒体(参院選)



### 候補者の選定に役立った媒体(都知事選)

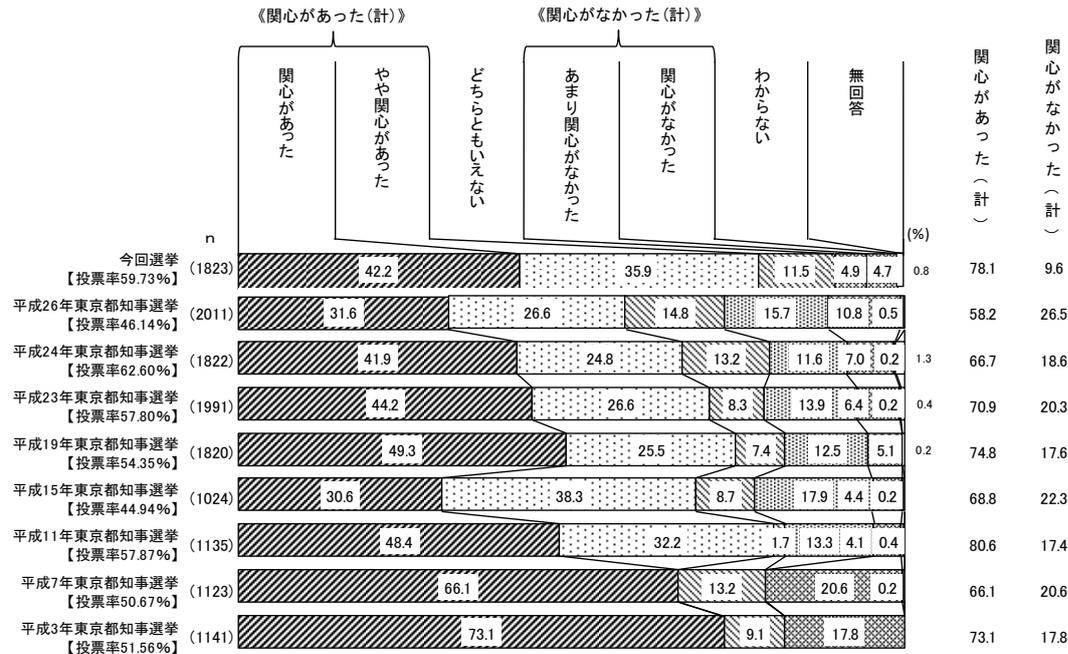


問い合わせ先  
選挙管理委員会事務局 選挙課  
電話 03-5320-6913(直通)

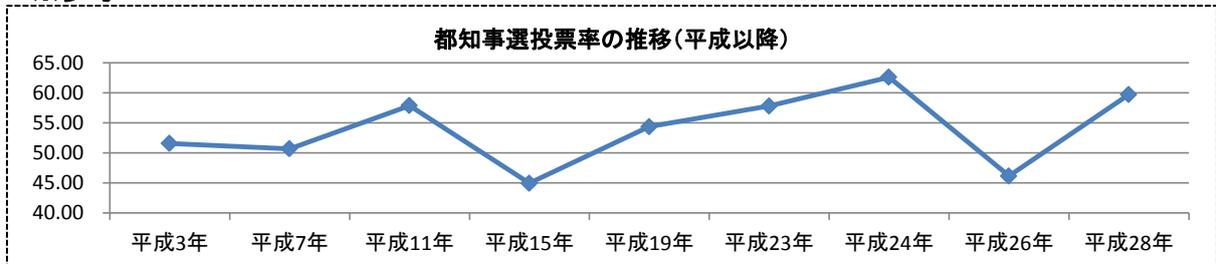
## 2 東京都知事選挙への関心度が、平成11年に次いで2番目に高い関心度

- 「関心があった」・「やや関心があった」は78.1%で、平成に執行された過去9回の都知事選の中で、平成11年に次いで**2番目に高い**。
- 「関心がなかった」・「あまり関心がなかった」は9.6%で、平成に執行された過去9回の都知事選の中で**1番低い**。
- 今回選挙の投票率は59.73%で、平成に執行された過去9回の都知事選の中で、衆院選との同日選挙となった平成24年(62.60%)に次いで**2番目に高い投票率**。
- 各年代の関心度(「関心があった(計)」)と年代別投票行動(推定投票率)は、同様の傾向を示している。

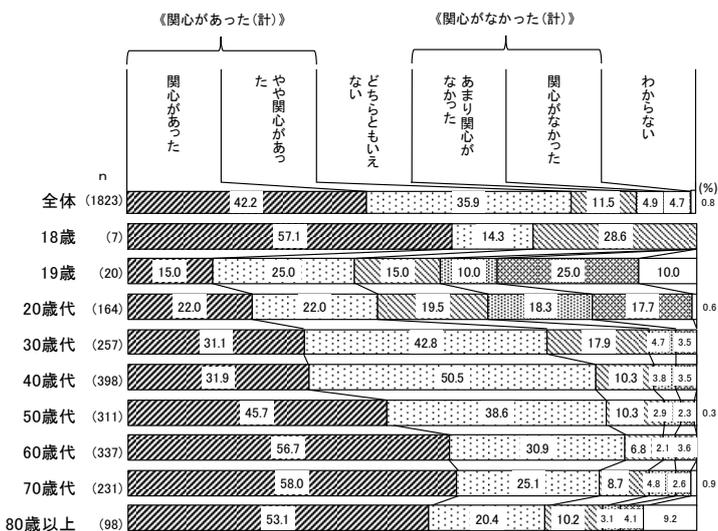
### 都知事選への関心度 (平成執行の都知事選との比較)



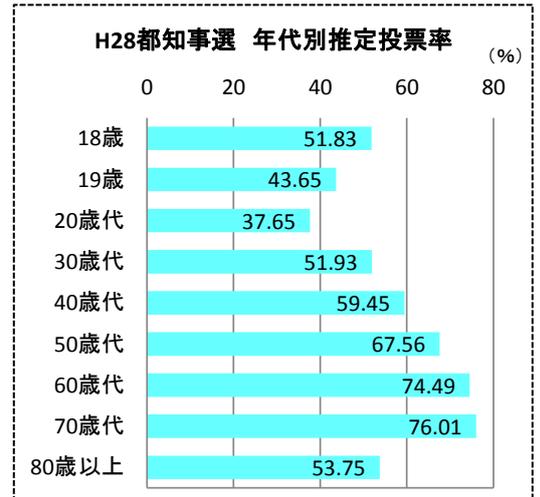
### ※参考



### 都知事選への関心度 (年齢別)



### ※参考



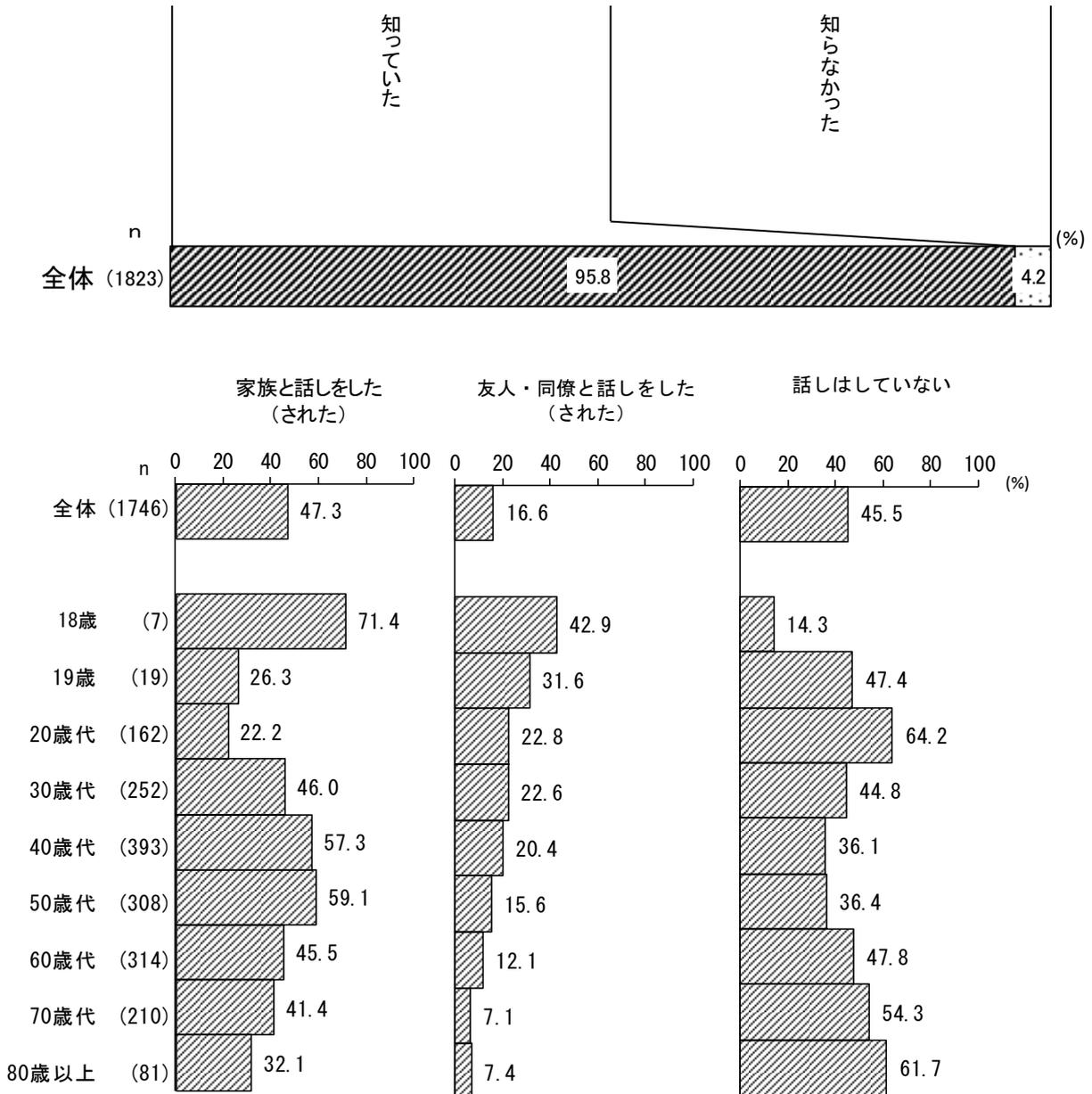
### 3 18歳選挙権について

●18歳への選挙権年齢の引き下げに関する認知度は、「知っていた」が9割半ば

●18歳への選挙権年齢の引き下げについての話題は、「家族と話をした（された）」が5割弱

●40歳代・50歳代は、約6割が「家族と話をした（された）」

- 7月の参院選から選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを知っていたかは、「知っていた」（95.8%）が9割半ばとなっている。
- 「知っていた」と回答した人に、選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえて、今回の選挙（参院選・知事選）において、誰かとそのことについて話題にしたかは、「家族と話しをした（された）」（47.3%）が5割弱で最も高かった。一方、「話しはしていない」（45.5%）は4割半ばとなっている。
- 年齢別でみると、「家族と話しをした（された）」は50歳代（59.1%）及び40歳代（57.3%）で約6割となっている。



注：回答対象者の属性ごとのサンプル数（n）が30未満の場合、比率が上下しやすいため、「18歳」・「19歳」については傾向をみるにとどめ、比較対象から除外している。